



# 谷原小だより 3月号

平成 26 年 3 月 3 日  
練馬区立谷原小学校  
校長 眞瀬 敦子

## 続・先輩に学ぶ

校長 眞瀬 敦子

先月号でお知らせした、「先輩に学ぶ」第 2 回目の佐田園子先生による「つまみ画」のお話は、子供たちに大きな感動を与えたようで、つまみ画のアップの映像に「うわー」というため息のような声が漏れました。その後、先生にお借りしたつまみ画とつまみ細工の実物を 1 週間ほど職員室前に展示したのですが、男の子も女の子も「なんて細かいんだろう」「作るのにどれ位かかるのかしら」「きれいだねえ」と、感激しながら大事そうに見ていました。(廊下に置いて自由にさせても、誰一人いたずらすることなく見られるのも、谷原っ子の素晴らしいところです)

翌週の「先輩に学ぶ」第 3 回、大学生の柿原孝則さんによる「大鼓」のお話は、700 年以上前から続いている能のお囃子と言われても「？」だった子供たちが、「おひな様の五人囃子です」と言われて「ああ」、「謡曲は歌で台詞、その音楽を担当しているのがお囃子、つまり 700 年前のミュージカルです」と言われて「へえー」。袴姿で凜とした柿原さんが、実は 6 年前まで村上先生、佐久間先生、そして大森先生に教わっていた谷原小学校の小学生だったと聞いて、急に親しみが増したようでした。最後は謡曲と共に大鼓の演奏を聞きましたが、カーンと体育館中に響き渡る音と「よお、はっ」という力強い掛け声にびっくり！日本の伝統芸能の素晴らしさに触れた 15 分となりました。

その後 5 年生と 6 年生はそれぞれ、柿原さんとお友達 5 人も加わっての能「熊坂」を観せていただき、実際に楽器を演奏させていただいたり謡曲を教えていただいたりし、充実した 2 時間を過ごしました。

そして 2 月 28 日。

6 年生を送る会は、1 年生と手をつないで体育館の花道に登場した 6 年生一人一人を紹介する、5 年生の言葉から始まりました。丹念なインタビューとそれに真摯に答える 6 年生の姿が彷彿とされ、6 年生一人一人の顔が見える、素晴らしい幕開けでした。

出し物のトップは 2 年生による、6 年生全員の名前のラップ。何と 2 年生は 6 年生全員の名前を覚えて、軽快なリズムに乗せて呼びかけたのです！これには 6 年生も大感激。「はあい」と返事するだけでなく、飛び上がって答える者もいて、会場の一体感が高まりました。

3 年生は楽しい 6 年生クイズと懐かしい「ゾウ列車」の歌。4 年生は先生たちまで登場する（もちろん私も）「恋するフォーチュンクッキー」の映像に合わせた踊り、1 年生は運動会での「タイムマシーンに乗って」を劇と共に熱演し、最後は 6 年生と一緒に大合唱となりました。

どの学年も実によく工夫された内容で、6 年生への尊敬と卒業を祝う気持ちがあふれていました。成長した 6 年生が、下級生にとってまさに「先輩に学ぶ」ことのできる姿を見せているからこそ、こんなにも温かい会になったのだと思うと、本当に嬉しく、教師冥利に尽きるひとときでした。

体育館棟も渡り廊下がつながり、来週には完成します。いよいよ卒業式の練習が始まります。保護者、地域の皆様、どうぞ最後まで応援よろしく願いいたします。

# 教室だより（各学年・専科より）

## 1年生

6年生を送る会も終わり、大好きな6年生とのお別れを実感しつつある1年生。

「もう1回6年生と遊びたいな。」

「まだ、お別れ給食会があるよね。」

と、まだまだなごりはつきません。国語や生活科の一年間を振り返る取り組みでも、6年生との楽しかった思い出がたくさん発表されています。

けれど、6年生との別れの3月は、「もうすぐ2年生」になる3月でもあります。入学式では、在校生を代表して新1年生を歓迎する演技をします。

「1年生に谷原小のいいところをたくさん教えてあげよう。」

「教室もきれいに飾ってあげよう。」

そういう時の顔はちょっぴりお兄さんお姉さんに見えます。

優しい6年生との別れはさびしいけれど、上級生になるのだという喜びの気持ちをもって、最後の1月を大切に過ごしていきたいと思います。

## 4年生

2月8日（土）、体育館で2分の1成人式を行いました。当日は多くの保護者の皆様が来校・参観くださり、ありがとうございました。

式では、呼びかけの中で、感謝の気持ちを伝えたり、できるようになったことや将来の夢を発表したり、ダンスを踊ったりしました。できるようになったことの発表は、テニス、ダンス、野球、けん玉・コマ、なわとび、サッカー、演奏、跳び箱・体操の8グループに分かれ、それぞれどのように発表するのか話し合い、練習しました。途中、意見が分かれたり、なかなかまとまらなかったりということもありましたが、話し合いや練習を重ね、みんなで協力して一つのものをつくり上げることができ、成長した姿を見ていただくことができました。そしてこの日、子供たちは保護者の方に感謝の気持ちを込めた手紙を渡しました。

10歳という節目の年、保護者の皆様とお子さんの成長を喜び合うことのできた記念すべき日になりました。

## 2年生

### お年寄りとのふれあい

先日、デイサービスセンターとナーシングホームを訪問し、お年寄りとの交流を行いました。事前に、体はみんなのように動かない方もいるけど、人生の先輩として敬意をもって接し、歌や出しものも精一杯お見せすることを話して出掛けました。デイサービスセンターでは、一緒に手遊びをしたり、肩をもんであげたりしました。「また来てね」と言われ、感極まって泣いてしまった子もいました。ナーシングホームでは、「こんなに楽しく笑ったのは1年ぶりだよ」と言ってくださる方もいました。子供たちも「喜んでもらえてよかった、また何回も行ってあげたい」と満足感をもって帰ってきました。

## 3年生

### 生かされて生きる

今年1年間たくさんの勉強をしてきました。総合的な学習の時間では枝豆を育て豆腐を作りました。一度は消えなかった伝統野菜の練馬大根を育て、昔から伝わる製法でたくあんを漬け、味わいました。横山錦七さんから広い畑をお借りし、漬け物工場の社長さんに漬け方を教えていただきできた経験でした。本の探検ラリーでは図書ボランティアや保護者の方々にお手伝いいただき、普段は手に取ることのない様々な種類の本に親しむことができました。わざわざ新潟のおばあちゃんに昔の道具を宅急便で送ってもらって、みんなにみせてくれた子もいました。七輪で焼いたお餅はおいしかった。あげればきりがないほどたくさん、地域の方々や保護者の皆さんのお力をお借りし、学習を深めることができたことに感謝します。

社会科見学で、ふるさと文化館に行きました。長い人類の歴史の中で築き上げてきた文明の中で、今を生きている自分を感じました。まもなく4年生。これからも多くの方々の力に支えられながら生きている事を知り、大きく成長していった欲しいと思います。

## 5年生

### 日本の伝統文化に触れて

10月に、狂言のワークショップを体験した5年生。2月20日には、谷原囃子の田口さんにお囃子の時の篠笛や太鼓・おかめやひょっとこのお面を体験させていただきました。そして26日は谷原小学校の卒業生の、柿原孝則さんに、能楽についてお話を伺ったり体験をさせていただいたりしました。お囃子のお面をかぶって、「木のにおいがする～」と楽しんでいた子供たちも、般若の面になると尻込みをしたり、耳の部分しか触ってはいけない貴重品にドキドキした様子でした。なかなか音の出ない篠笛で一生懸命になりすぎて脳貧血状態の子も。太鼓では、ご指導くださった田口さんの声に合わせてみんなの音がそろろうようにたたく事ができました。

昔から親しまれてきた『和の音・芸術』を楽しむ事ができました。

## 6年生

いま別れの時飛び立とう未来信じて。これは巣立ちの会で合唱した「旅立ちの日」の歌詞です。参加された方々から「本当にいい歌声だった。」「すばらしい合唱でしたね。」「アルトの声が響いていましたね。」など多くのお褒めの言葉をいただきました。「苦勞して一度身に付けた技は簡単には破られませぬ。」とは柔道家の古賀選手の言葉。昨年の中芸学芸会「ゾウ列車よ走れ！」で培った歌声は今も健在でした。

6年生を送る会で心温まる下級生からの出し物をいただいた6年生。御礼に運動会を通して身に付けた団結力を表現するため、組体操のウエーブを披露。やはり一度身に付けた技は崩れていません。

いよいよ新体育館での卒業式練習も始まります。谷原小の伝統を引き継ぎながら、苦勞して身に付けたあの素敵な歌声で最後の授業、卒業式を締めくくり、未来へ飛び立ちます。

## 「算数での学び合い活動を通して、考えを論理的に表現する力を育む」 佐久間亮司

算数科では、基本的な学習の形態を「問題」「作戦」「自分の考え」「友達の見方」「まとめ」「練習問題」「学習感想」という問題解決のプロセスを明確にして授業を行っています。それは、子どもが問題解決の流れを意識して学べるようにするためです。授業の見通しをもたせることによって、主体的に学ぶ姿勢を育てていきたいと考えています。

「自分の考え」…子供たちは、学び合いの出発点として、まず個人学習の時間を十分に使って、自力解決に取り組みます。自分の考えをしっかりと、自信をもって学び合いに臨めるようになります。

「友達の見方」…発表では、全体やグループの中で共通点や相違点を探ると共に、妥当性（正しいか、正しくないか）、効率性（どの方法が簡単か、より良いか）を話し合います。たとえ相手と考えが同じ場合でも、改めて自分の考えを言葉で伝えるようにします。そうすることで自分の考えをさらに明確にすることができます。

学校公開で授業を参観される際には、ぜひ子供たちの主体的に学ぶ姿勢を見ていただきたいと思います。

## 3月の行事予定

－ 3 月 －	21日（金）春分の日
3日（月）クラブ活動（最終） 安全指導	24日（月）修了式
4日（火）健康の日 1年・2年保護者会	（1～4年生、2時間授業）
5日（水）避難訓練 地区班会	卒業式予行
6日（木）集団下校（5校時）	（5～6年生、4時間授業）
10日（月）委員会 美化日	25日（火）卒業式
13日（木）引越し 1～4年生午前授業	26日（水）春季休業日始
14日（金）引越し 1～4年生午前授業	
17日（月）5時間授業（全学年）	－ 4 月 －
18日（火）5時間授業（全学年）	4日（金）前日準備
19日（水）5時間授業（全学年）	5日（土）春季休業日終
20日（木）大掃除5校時 給食終了	7日（月）始業式 入学式

## 校内研究について

研究主任 村上美予子

平成24・25年度、「どの子ども自信をもって書くことができる指導法の工夫—モデル文や文集「練馬の子ら」を活用して—」と主題を設定し、研究を進めてまいりました。

具体的な、「どんな書き方をしたらよいか」を指導することで、様々な文種の作文や国語科以外の学習での「書くこと」に取り組ませてきましたが、子供たちの「書けてうれしい」という満足そうな姿、意欲的に書く姿がたくさん見られ、「書く力」が目に見えて伸びました。

「書く力」は、国語科だけでなく、様々な学習の場や生活の場で必要とされる力です。子供たちがこの2年間で習得した「書き方」を今後も活用し、学習や生活をより豊かで充実したものにしていけるよう願って、2年間の研究を終えたいと思います。

保護者の皆様には、授業をご参観いただいたり、ご意見ご感想をいただいたり、また、子供たちを励ましていただいたり、たくさんご協力いただきました。ありがとうございました。

## 夢ある世界へ大きく歩き出せ！

特活部 須佐陽子、高瀬幸恵

これは、代表委員が考えた今年度の6年生へのお祝いの言葉です。この言葉のもとに、全校で準備をすすめ、2月28日に6年生を送る会を行いました。

6年生の音楽演奏やメッセージは、小学校生活の成長や谷原小学校へのたくさんの思いが溢れ出るすてきなものでした。

1年生から5年生のプレゼント、出し物、会場の装飾なども、どれもお世話になった6年生への感謝の気持ちが込められていました。

卒業式は新体育館で行われる予定です。思い出の詰まった現在の体育館での最後の大きな行事となった6年生を送る会。一緒に過ごしたみんなの心に温かく残る会となりました。

## クラブ発表

特活部 池田 航

春が近づくと、4、5年生は来年度に参加するクラブを決める時期になります。3年生は、どんなクラブがあって、どういう活動をしているかが分からないので、今年度は、2月17日の5、6校時に4年生以上が集まって体育館で一斉にクラブ発表会をし、それを3年生が見学しました。実演発表とビデオを使用しての発表です。限られた発表の練習時間の中で、どのクラブも工夫を凝らして楽しく行うことができました。

実演発表グループは、球技、卓球、室内スポーツ、パソコン、音楽、科学、ダンスの7クラブ。球技クラブは、全力で投げ合うドッチボールを見せました。卓球クラブは試合をしました。室内スポーツクラブは、バスケットボールとバドミントンの練習を見せました。パソコンクラブは、ネット社会について調べたことを発表しました。音楽クラブは、素敵な演奏をしました。科学クラブは、ペットボトルロケットを発射しました。ダンスクラブは、音楽に合わせたダンスを披露しました。

ビデオを使用しての発表グループは、手作り、工作、マンガ、ゲーム、エンタメの5クラブ。手作りクラブは、クッキーとブローチの作り方を発表しました。工作クラブは、指編みやフリスビーなどの作品を紹介しました。マンガクラブは、描いたパラパラマンガを見せました。ゲームクラブは、シルバーの船木さん将棋をする様子やスポーツチャンバラで楽しく活動している様子を見せました。エンタメクラブは、ビデオでマジックを見せるとともに、ショートコントの実演で会場を大いに盛り上げました。

クラブ活動は、4、5、6年生の高学年児童が、自分の興味あるクラブを選んで参加し、自分たちで主体的に活動をします。今回のクラブ発表会では、異学年の児童と、助け合い仲良く楽しく活動している様子が伝わり、3年生も魅力的なクラブの数々に、来年度への期待をふくらませていました。